



「梅雨について考える」

祁答院小学校 岡留一正

先日、5つの地域コミュニティー協議会の「地域防災連絡調整会議」に参加しました。各地域の防災に対する備えや避難場所、薩摩川内市の防災対策についての説明を受けて今後の防災活動に役立てましょうという内容でした。自然が起こすことは、良いことも悪いこともあります。人間にとって脅威ともなる自然災害。これからの長雨による土砂災害や河川の氾濫、大雨による交通事故など、様々な災害が考えられます。これらを最低限の被害に抑えたり、防ぐための取組を考えながら、私たちにできることを日々の生活の中で実践していきたいものです。そのためにも、防災についての知識を身につけ、地域の防災マップや避難場所の確認など、ご家族で確認しながら、自分たちができる「防災」に心掛けましょう。

さて、6月に入りました。今年は梅雨入りがとても速くて5月下旬。長雨の季節がひょっとしたら長くなるのではと少し心配ですが。さて、この梅雨について少しお話を。祁答院地域はお米の普通作を行っており、今の時期はどの田んぼでも「田植え」が行われています。梅雨の時期の光景です。それまで五月晴れとか晴天の日が続いていましたが、畑や田んぼに雨が欲しいなあという頃にちょうどいいタイミングで梅雨がやってきます。まさに「恵みの雨」です。お米にとっても農作物にとっても雨は必要不可欠です。しかし、あまり長引くと土砂災害等、何かと面倒なことにもなるため用心したいところですが、自然がすることなのでどうしようもない部分もあります。この時期、この「雨」を有効活用してみたいと思います。私はいつもこのように考えます。6月は1年の半分の6か月が終わる時期なので、今まで1月からひたすら仕事や勉強に頑張ってきました。ここらで一休みするためには何らかの理由が必要かと。「雨」だと外の作業は難しいので、いっそのことお休みして次の仕事に備えるというのはどうでしょうか？もちろん田植えのように雨が一緒の方がいい場合もありますが、それはある意味特殊なのでそれ以外は「雨」がお休みする理由になるかと。これも考え方によればまさしく「恵みの雨」かなと。こじつければ何でもありになりそうですが、都合のいいように解釈しても罰は当たらないかなあとと思いまして。何事も休憩・休息は大事ですから。

といった感じで「梅雨」に入っているいろいろと考えることがありました。皆さんはどうでしょうか？目の前の現実や事象などを受け入れて、それについて考え自分なりの答えを出して行動することも、たまには必要かなと思います。



家庭教育学級・学校保健委員会

第一回家庭教育学級では、南九州開発株式会社、蓮香秀司氏を講師に招いて、「おもてなしの心」をテーマに家庭生活に取り入れたいちょっとしたマナーについてお話をいただきました。蓮香氏の『『あいさつ』は、話初めのきっかけのことばです。』にはっとした受講者も多かったです。参加者からは、「毎日意識して大切な言葉、ありがとうを言えるように過ごしていきたい」などあいさつに関する感想が寄せられました。



市綱引き競技大会



5月28日に行われた小学校綱引き競技大会では、Aブロックで出場しました。5月10日から藺牟田の綱引きチーム『ラムサール』の方々の指導のもと練習に励んできました。一回戦は、永利小と対戦し、二回戦は、亀山小と対戦しました。どちらの闘いも4セット時点で2対2の延長戦の5セット目までいき、手に汗握る白熱した試合展開となりました。子どもたちにとってもドキドキの綱引き大会になりました。『ラムサール』の方々や保護者、地域の皆様、応援ありがとうございました。



教えられた姿勢を意識し、心を一つに綱を引く児童たち

第2回春季大運動会

晴天のもと、運動会が開催されました。田中市長の温かい励ましのあいさつに、日頃の練習の成果を発揮すべき奮起した児童の姿が勇ましかったです。練習の成果を発揮しただけでなく、参観者も一緒に楽しむ祁答院小学校の運動会となりました。特に、祁答院音頭では、保護者、来賓、地域の方の参加で大きな円の踊りになりました。今年の優勝は、赤組でしたが、白組との差は僅差で、両組とも本当にいい闘いでした。お忙しい中、児童の頑張りを見守り、応援していただき、本当にありがとうございました。



【 地域対抗綱引き 】
優勝 黒木地区 準優勝 大村地区



- 2日(水) 巡回図書
- 3日(木) 中学3年生との交流会②・ボランティア交流③(1・2年)
- 4日(金) 学級PTA・家庭教育学級(救急救命)
- 8日(火) ふるこみ:大豆の種まき3年

- 9日(水) 祁答院スポーツチャレンジ
- 11日(金) かごしまジュニア検定(5・6年)
- 12日(土) 土曜授業・地P連バレーボール大会
- 14日(月) フッ化物洗口
- 18日(金) 終業式
- ※ 水難事故防止運動強調期間(～8/31)